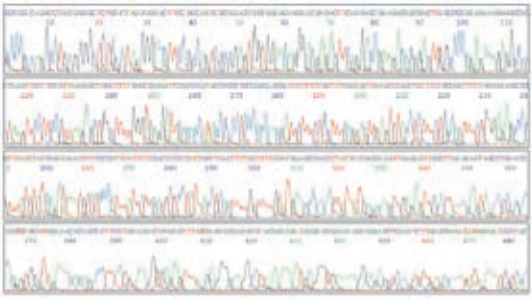
〈実験結果〉

大きなテンプレートでも解析可能

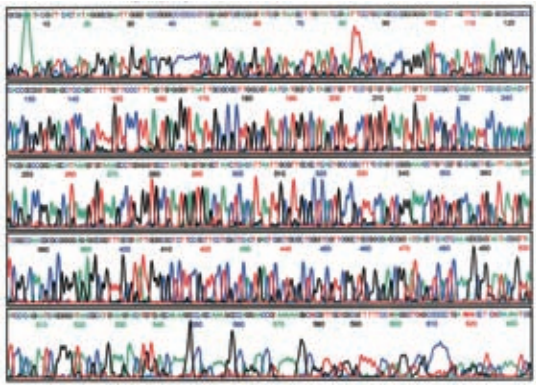
0.8 mg のBACクローンをサンプルとしてABI Model 373シークエンサーで解析を実施。



Energy Transfer 技術による感度の向上で、従来では難しかったλファージや BAC のようなサイズの大きなサンプルも、テンプレートとして用いることができるようになりました。

少量のサンプルもここまで判読可能

25 ng のSK（+）のプラスミド DNAでも500 ベース以上解析可能。

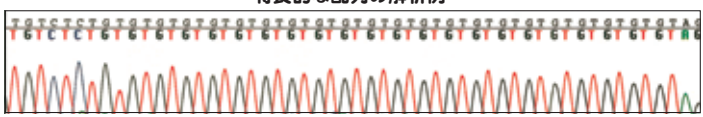


Energy Transfer 技術により、サンプルは極少量（0.1 ～ 0.2 pmol）で OK。だから、サンプル調製の手間とコストを減らせます。しかもサンプル中に混入してくる夾雑物の影響を低減し、よりきれいなシークエンスシグナルを得ることができます。

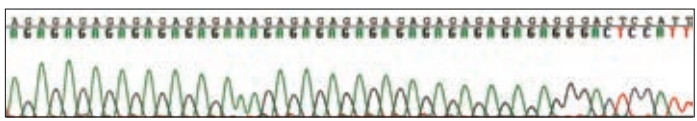
Thermo Sequenase II の優れた解析力は特異的なDNA配列も判読可能

特長的な配列の解析例

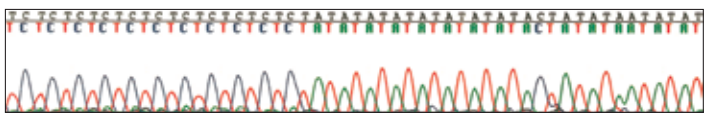
1. GTリピート
   GT配列のくり返しでもピークが減衰せず、プロトコールの変更なしに正確な解析ができます。



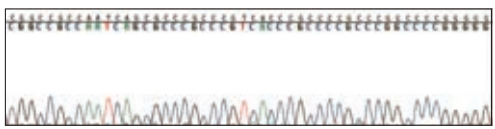
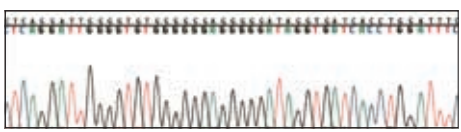
2. GAリピート
   GA配列のくり返しでも正確な解析ができ、シークエンシング反応が止まることはありません。



3. CTおよびATリピート
   CTおよびATのくり返し配列でも均一なピークで正確な解析ができます。



4. GCリッチ
   GC含量の非常に高い配列でもシークエンシング反応が止まることはありません。dGTPを含む試薬に変更する必要もありません。



5. Gリッチ
   G含量の高い配列の下流でもシークエンシング反応は止まることはありません。